

総務委員会

合併5町村の総合計画をベースに、豊かな安曇野市づくりを

平成17年度旧町村一般会計並びに特別会計歳入歳出決算

平成17年度安曇野市一般会計補正予算1号
安曇野市総合計画審議会条例の制定について
他条例6件

平成18年度安曇野市一般会計予算

Q 歳入のうち、市税の見込みは。

A 市民税は増加、固定資産税は評価額の減少により1.3%減（対前年）の105億円。

Q 扶助費が大幅に増加しているが、その内容は。

A 福祉事務所が設置されるに伴う生活保護費などの増である。

平成18年度安曇野市同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

松本広域連合の処理する事務の変更、及び同連合規約の変更

防犯、防災研修（於・安曇野警察署）～犯罪実態とその対応、交通災害、子どもの安全確保等について



安曇野警察署との懇談会

環境経済委員会

公の施設〔三郷やすらぎ空間施設〕指定管理者の指定

指定管理者の選定方法に問題

Q 選定委員会の委員長が、自ら三郷やすらぎ空間施設の指定管理者を務めるのは、透明性に欠けるのではないかと？

A 今まで助役が委員長になり、行政7名、民間3名で構成されていた。今後は、助役を委員から外し、



建設工事も最終段階・三郷やすらぎ空間施設

更に事務方の人事課長を委員から除き民間5名、行政5名の体制に変更し進めていく。

なお、公募によらない理由として、旧三郷村継続事業であり、竣工も間近であること。地域農業の活性化、あるいは農業者の活力の生み出しに積極的にかかわりを持ち、観光宿泊施設等の事業実績のある「ファインビュー室山」を指名したが適切と判断した。

平成18年度安曇野市一般会計予算

Q 環境基本計画策定委員の報償費が計上されている。委員構成、調査内容は？

A 本年度環境基本計画策定に着手する。計画策定に32名の策定委員をお願いし、自然環境、生活環境、また、田園都市の環境ということで歴史、文化、公園緑地等調査の一部をコンサルタントに委託し、基本的な調査をしていく。

三郷やすらぎ空間施設
古民家を移築し、農業体験施設やレストランとして活用する施設
場所＝三郷サラダ市西側

福祉教育委員会

犯罪から子どもを守る安全対策は住民との協働とともに

平成18年度安曇野市一般会計予算

Q 保育園のおじいちゃん先生について、今後の進め方は。

A 現在、豊科4園で保育協力員として半日程度勤務しており好評である。他の4地域においても一園ずつ広げたい。広報「あづみの」で募集していく。



青色回転灯付パトロールカー

Q 成人式は今後どのように行うのか。

A 市民1000人対象にアンケート調査を実施する。1カ所合同で行うのか、開催の時期、実施主体はどうしたいのか等の内容である。その結果をふまえて実施したい。

Q 安全な登下校対策について。

A 巡回用公用車（青色回転灯付パトロールカー）が2台ある。1台購入し、ロータリークラブより3台寄贈の申出があるので合わせて全市をカバーできる態勢となる。

また、青色灯を20個程度購入し、学校や教育委員会の公用車に付けていきたい。

平成18年度安曇野市介護保険特別会計予算
安曇野市公民館条例の制定について 他

建設水道委員会

平成18年度安曇野市一般会計予算

Q 豊科地域の都市計画区域区分の線引き、穂高地域のまちづくり条例が施行されているが、土地利用計画の進め方は？

A 土地利用計画は、合併協議では5年を目途として同一歩調で行うことを基本に進めることになっている。

本年は、土地利用の検討に係る専門家等アドバイザーによる検討を進め、土地利用検討委員会を設置する。

平成18年度安曇野市下水道事業特別会計予算

Q この事業の財源確保は？加入負担金、使用料の統一は、事業の進捗状況をみて検討を、また国の制度見直しがある中で、市として長期的な事業財源計画の早期策定を。

A この事業については、現行事業水準では運営が極めて厳しい。従って、事業の見直しについて検討

する。

受益者負担金は、事業終了までは現行のままとする。

また、新たに加入する「区域外流入」については、新たな規準の制定を検討する。

